

## <平成29年度当初予算・平成28年度2月補正予算について>

今回の予算編成は平成28年度の2月補正と平成29年度の当初予算が一体的に行われ、議案についても2つの予算案が同時に審議の対象となります。また、6月議会には予算案件はありませんでした。2月補正は実行されなかった予算の減額補正なども多く、調整的な意味合いも強いいため、今回はこの1年のベースとなる予算である平成29年度の当初予算を中心にお話したいと思います。

一般会計予算規模は**4,719億円**と28年度当初予算と比べ**145億円**の減少。伸び率はマイナス3.0%と前年を下回る編成となっています。新幹線の敦賀開業や小浜京都ルート決定、中部縦貫道永平寺大野道路開通などを受け、「東西南北の交流促進」と銘打ち、高速交通体系の整備に思い切った予算配分がなされている他、「ふくい創生・人口減少対策戦略」に基づく施策、国体の競技力向上等の分野を重点的に配分した予算となっています。

(単位：億円)

会計区分	29年度当初	28年度当初	増減	伸び率(%)
一般会計	4,719	4,864	△145	△3.0
特別会計	181	151	30	20.2
企業会計	362	369	△7	△1.9
計	<b>5,262</b>	<b>5,384</b>	<b>△122</b>	<b>△2.3</b>



今回はボリュームも大きいのでほんの一部ですが新規事業を中心に以下に気になったものについて記載します。尚、個別予算の詳細については以下のURLにて見ることができます。

[http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/zaisei/fukuikenyosan/tousyo29\\_d/fil/002.pdf](http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/zaisei/fukuikenyosan/tousyo29_d/fil/002.pdf)

### 1▶人口減少対策(U・Iターン推進)事業

- **ふくいワークキャンプ推進事業**:都市部の若者が一定期間県内に滞在し、県内企業で商品開発に参加したり、アルバイトを行いながら地域住民と交流する活動を支援、将来的な移住を促進。 3,613万円
- **幸福ふくいロングステイ推進事業**:都市部の元気な中高年層などの将来的な移住につなげるため、中長期間滞在できる環境を整備。 1,219万円

U・Iターンの推進について、今年度も新規事業があげられています。今回は移住の候補者をいくつかのセグメントに分け、それぞれアプローチしていこうという意図が見られます。現在、各自治体とも都市部から移住者を誘致しようと各種施策にてしのぎを削っている状況です。それだけに候補者のニーズをしっかりと捉え、福井に来なくなる事業の実施が求められます。

### 2▶農業関連事業

- **「ポストこしひかり(いちほまれ)」ブランド化事業**:平成30年のいちほまれの販売に向けて本格的なPRを開始し首都圏などにおける知名度向上を図る。 1億4,000万円
- **ふくいワイン振興事業**:県産ワインを醸造する施設整備を支援するとともに、醸造の担い手を養成するプログラムを策定し、中山間地域の活性化や都市部からの誘客の拡大を図る。 1億4,000万円

7年越し、20万種の中から選出されたポストこしひかりの名称が「いちほまれ」に決まりました。非常においしく、作りやすいとの農家の声ですが、いよいよ本格的な販売に向けてのPRが始まります。売り下手福井の面目躍如となるかどうかしっかり見守っていきます。また、ワインについては安養寺の農業ビジネスセンターを中心に行われますが、将来、越前市が生産のみならず、ワイン文化のメッカとなるよう注意深く事業の進展をフォローしたいと考えています。

### 3▶健康福祉関連

- **医師確保の推進事業**:専門医を目指す医師に対する研修環境の整備や県内研修情報の発信を行い、医師の確保に努めます。 1億1,013万円

# 宮本たかし 県政 NEWS

2017夏号  
Vol.21

宮本 たかし 事務所

〒915-0876 越前市白崎町73-1-3 3F  
電話  
ファックス **0778-22-6633**



## 宮本たかしからのご挨拶

拝啓  
今年の夏は、当初からの予想の様に文字通り猛暑となっており、皆様お変わりありませんでしょうか。平成二十九年度も早いもので二回の議会を終え、本年度は会派執行部の一員として会派としての提言の取りまとめや議会運営等に忙しい日々を送っております。  
新聞報道にありました選挙区に於ける定数変更について、現状の維持という形で決着が付きましたが、皆様から御心配の言葉をお掛け頂き、感謝しております。  
来年に迫った、小さい元気国体のプレ大会も始まっており、スポーツを取り巻く状況も大きく変わっていくことが予想されます。今後共、粉骨砕身、頑張っておりますので、一層の御指導・御鞭撻をお願い申し上げます。

宮本 俊



## <2月・6月議会一般質問／予算決算特別委員会>

今回は2月、6月議会、及び、2月議会での予算決算特別委員会での質問の内、主なものを報告いたします。今回も空中戦(イメージや印象に基づく質問)にならぬよう、しっかりとした調査データに基づく質問を心掛けました。(★が私の質問、☆が知事及び理事者の答弁、□内が解説です。)



★ 越前市において大火があり、10軒の方が被災したという状況である。ここは商店街であって、再整備のためにいろいろな計画を立て、さあ、取りまとめようかというやさきのことであった。そういった再整備や復興に対する支援について所見を伺う。

☆ 知事: 突然の災害であるので、もちろん被災された方々の生活の再建、それから、これを機に、武生の旧市街のまちづくりをさらに新しい形で行う契機とし、課題を挙げる必要があると思う。またいろいろ要請もいただき、しっかりと進めていきたいと思う。



この質問は事前の通告なしに行ったのですが、知事からは前向きな答弁を頂いたと感じています。やはり、商店街としてどのように生まれ変わるか、既存の計画を含め、一致団結したコンセンサスが取れた形での支援要請と復興を行う必要があると考えています。

★ 木造住宅の耐震化推進事業において予算の額、補助額、対象者への対応など、総合的に見ると、耐震化率の目標90%の達成というのは疑問ではないか。

☆ 知事・土木部長: 福井県を含む37都道府県が国としての目標である9割を目標として設定をしている。寝室、居間の部分改修の助成など、さまざまな工夫をしながら、所有者が行う耐震改修を後押しすることが重要だと考える。住宅の耐震改修支援については国の補助制度を活用している。私有財産への公的資金の投入の観点から、補助率は対象事業費の23%、上限額は80万円と定められている。来年度は、国が、新たに戸別訪問を実施する市町において、補助上限額に30万円上乗せする制度を創設したのを受け、本県においても、上限額の引き上げを行う予算を今回計上しているところ。来年度の予算額2,200万円は、耐震改修補助80戸分の県費負担を計上している。市町の申請状況が当初予算を上回る場合には、補正予算で対応したいと考えている。

国の計画の目標数値をそのまま引用して耐震化率を9割に設定していること、そして予算額が補正を組まれたとしてもこの9割の達成のための額としては小さすぎることなど、大きな課題を抱えた事業だと考えています。震災が各地でみられる中、耐震化診断とその後の工事への県の誘導は非常に重要なテーマであると考えています。



## <県政メモ15 ~県議会議員の定数について~>

先日、あたかも決定のように報道された越前市・今立郡・南条郡選挙区における定数(現在5)変更についてですが、以下の理由により現状維持のままという形で決着がつかしました。

- 同選挙区は3つの自治体から構成されており地域の代表となる議員は相当数の確保が必要であること。
- 今回の変更(福井+1/越前市・今立郡・南条郡-1)を実施したところで最大格差となる大野市(定数一人当たり人口16,555)とあわら市(同28,729)の格差1.74になんら影響を与えないこと。
- 全県で見ても最大格差は最高裁の判決で基準となる2.0を下回っていること。

我々は最大会派として各派代表者会議に定数の変更を提案したわけではなく、変更を議論する協議会の立ち上げをするかどうかの検討を各派に依頼したに過ぎず、協議会の立ち上げすら必要なしとの結論が県議会の総意としてなされたわけです。ご心配頂いた皆様、ありがとうございました。

## 宮本たかしダイアリー



産業常任委員会にて



人口減少対策特別委員会にて



小泉進次郎氏と高木先生、富田JA組合長とともに



新装県営体育館ボクシングリングにて



南地区体育祭 きくりんと



東地区の方に頂いたお写真



南地区夏季操法訓練、文京2丁目自警消防隊と



市民体育祭体操競技 優勝の南地区の方々と